

平成 27 年 5 月 日

様

漁師画家を支援する有志の会

代 表 玉澤 健児

事務局 大澤 邦雄

〒020-0024 盛岡市菜園 1-3-6 農林会館 5 階

(株)イーエムエス内

電 話 090-6471-8939 (大澤)

F A X 019-613-2252

メール rtdept_ohsawa@yahoo.co.jp

拝啓

風薫る新緑の候、いかがお過ごしでしょうか。

同封葉書のとおり、来る 6 月 2 日（火）から「高屋敷 登絵画展 ー田老の漁師、田老の海を描くー」を、盛久ギャラリーにて開催いたします。

宮古市田老地区在住の高屋敷 登氏は、漁師のかたわら 30 年以上にわたり周辺の海岸の風景を描いて来ました。田老の美しい海を描きたいという思いだけで描き貯めた絵は 100 点以上におよび、そのいくつかは希望する田老地区在住の知人、友人に贈っておりました。

しかし、2011 年 3 月 11 日の大震災によって、高屋敷氏の自宅は、今まで描き貯めた絵と共に流されてしまいました。しかも田老地区全体を壊滅させた大津波は、友人宅まで押し流し、贈呈した絵の全てだけでなく、多くの人命も奪っていきました。今までに描いた絵は、一枚として残りませんでした。

失意にあった高屋敷氏に対し、中学の同級生や友人から、田老地区復興の願いを込めてもう一度田老の海を描き、個展を開いて支援して戴いた多くの方々に見てもらったらどうか、という話が持ち上がりました。これを受けて決意を新たにされた高屋敷氏は、再び絵筆をとって田老の海を描き始めました。こうして描かれたのが、今回の個展の絵です。

未だ復興途上にある田老に思いをいたし、美しい田老の海を見て戴くための個展です。

どうか、より多くの方にお出で戴き、田老だけでなく、三陸、そして東北全体の復興を願って、ご鑑賞いただきたいと思っております。

作家は、初日の 6 月 2 日（火）に在廊する予定です。取材、掲載方ご協力のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

post card

高屋敷 登 絵画展

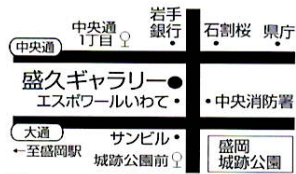
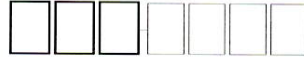
田老の漁師、田老の海を描く

2015年6月2日(火)～7日(日) 入場無料
午前10時～午後6時(最終日午後4時まで)

高屋敷 登

1949年岩手県田老町(現宮古市田老)生まれ
20歳から釜石の遠洋漁船に乗り込み漁船員として働く。
33歳の時、地元田老で家業(昆布、わかめ養殖)を継ぎ、
仕事の傍ら趣味で絵を描き続けて30年。
2011年震災時、家にあった絵は津波で全て流された。

初の個展。震災後に描いた新作を発表いたします。
漁師が愛する田老の海を、どうぞご覧ください。



盛久
MORIKYU GALLERY

盛久ギャラリー
<http://morikyu.net/>

〒020-0021 盛岡市中央通1-1-35 TEL. 019-651-8421

主催

(株)イーエムエス 内「漁師画家を支援する有志の会」事務局
〒020-0024 盛岡市菜園1-3-6 農林会館5階
お問合せ090-6471-8939(大澤)



「明神崎」油彩6号 2013年

高屋敷 登 絵画展

田老の漁師、田老の海を描く

6月2日(火)～7日(日) 盛久ギャラリー